

令和５年度 高岡市DX推進会議 議事録

1 日 時 令和５年７月１０日（月）１３時３０分～１４時４５分

2 会 場 高岡市役所 ８階 ８０３会議室

3 出席者 出席委員８名、オブザーバー１名

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 委嘱書の交付
- (4) 委員の紹介
- (5) 事務局の紹介
- (6) 座長の選出
- (7) 議事
高岡市DX推進アクションプランに係る令和４年度の実績について
高岡市DX推進アクションプランの見直し（案）について
- (8) 意見交換
- (9) 閉会

○以下は(8)の発言要旨

※意見と回答はその趣旨を変えない範囲で要約してあります。

(7) 議事

○事務局より資料内容説明

- ・高岡市DX推進アクションプランに係る令和４年度の実績について
- ・高岡市DX推進アクションプランの見直し（案）について

● 座長

高岡市DX推進アクションプランに係る令和４年度の実績及び高岡市DX推進アクションプランの見直し（案）について、ご意見を伺いたい。

● 委員

AI チャットボットについて、どのような問い合わせがあったのか質問解決の有無などデータ分析はどの程度されているか。

● 事務局

毎月集計をしており。回答率は令和５年３月時点で８９．８％。AI チャットボットを利用された際、役に立ったかどうかのアンケートがあり、「役に立たなかった」と回答されたものについては毎月改善を行っている。

● 委員

「資料 No. 2-1_高岡市 DX 推進アクションプランの見直し（案）について」の（９）産業スマート化事業支援とは具体的にどのような支援か。

● 事務局

産業スマート化事業支援は中小企業を対象とし、デジタル技術の導入又はデジタル人材の育成による企業活動の省力化及び経営効率の向上に係る取り組みに対し、費用の一部を補助するもの。補助対象事業は２点。１点目は、デジタル化事業。デジタル技術を活用し、業務及び製造プロセスの省力化、生産性の向上、製造プロセスの最適化等を図り、ビジネスモデルの取り組みへ補助するもの。２点目は人材育成事業。従業員のデジタルリテラシーの向上に資するもので、公的機関が実施する研修や外部人材を講師として実施する研修事業に対して補助をするもの。

● 委員

産業スマート化事業支援補助金は、他補助金と重複申請可能か。また人材育成事業は、企業へ周知

を行っているのか。

- 事務局
国県等の他補助金と重複して受けることはできない。企業への周知は、商工会議所に協力いただいているか企業訪問の際にもPRを行っている。産業スマート化支援事業の実績は令和3年度7件、令和4年度14件。
- 委員
デジタル人材を育成し、デジタル化に資する体制を作っていかなければならないが、企業も苦勞しているところ。本補助金をうまく活用してもらえよう周知に努めてほしい。
- 座長
県市で連携し、周知に努めてほしい。
- 委員
公衆無線LANの利用実績は把握しているか。
- 事務局
リニューアル前の公衆無線LANの利用実績はとれていない。今後は利用実績も踏まえ、さらなる利用増に向けた周知等に努めたい。
- 委員
ChatGPTなど生成系AIの導入予定などについて伺いたい。
- 事務局
ご存じのとおり、情報内容の信ぴょう性、著作権などの課題もあるところ。業務へどのように活用できるかに関しては、現在調整中である。
- 委員
「資料 No. 1-2_高岡市DX推進アクションプラン令和4年度取組実績一覧（社会）」において、マイナンバーカードの申請率は7割以上とある。マイナンバーカードと健康保険証の一本化が予定されているが、市窓口で申請に来られない人がマイナンバーカードの申請をしたい場合はどうすればよいか。
- 事務局
健康保険証としての利用についてはマイナンバーカードを取得できない方には資格確認書が発行される予定である。また、マイナンバーカードの申請は本人の意思確認ができれば代理申請も可能である。ケースバイケースなので、悩んでいる方があれば、まずは市の窓口にご相談をお願いしたい。
- 座長
「資料 No. 1-1_高岡市DX推進アクションプランに係る令和4年度取組実績について」の取組実績には数値の評価だけではなく、役に立ったのか便利になったのかなど住民や企業からの視点を評価項目の中にいれられるといいと思う。
- 事務局
最後に、高岡市DX推進アクションプランの見直し（案）について、皆様ご了承いただけたということでしょうか。
- 座長・委員
了承した。
- 事務局
これにて、閉会とする。

以上